

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33504	インテリアデザイン Interior Design	村松 尚子	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
インテリアデザインとは主に建築内部における装飾など室内環境全体にかかわるすべてのデザインを言う。この科目ではインテリアデザインの基礎知識を身に付けることで、生活空間を豊かにすることを学ぶ。自己の価値観を確立しながらライフスタイルを自らデザインできる能力を身に付ける。						
学修内容			到達目標			
① インテリアコーディネート基礎を学ぶ。 ② 収納とインテリアの関係と学ぶ。 ③ キッチン空間をデザインする。 ④ 間取り図を読む力を養い、描き方の基礎を学ぶ。 ⑤ 一人暮らしを想定し、必要なエレメントを選定、レイアウトをしたプレゼンボードを作成する。			① インテリアコーディネートに必要な要素を説明できる。 ② デザインと機能を備えた空間を創造できる。 ③ 間取り図を見て空間を推測できる。 ④ 学修した内容を踏まえ、自身の居住空間のデザインを創出できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験することで自己学修することができる。				
	働きかけ力	わからないときに相談することができる。				
	実行力	課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。				
考え抜く力	課題発見力	人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。				
	計画力	期限内に作品を完成させることができる。				
	創造力	他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	相手に伝える工夫をして発表できる。				
	傾聴力	相手の話を素直に聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	予習、復習を行い、積極的に講義に参加することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。必要に応じて資料を配布する。 参考文献:授業内で適宜紹介していく。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:インテリアエレメント 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
プレゼンボードを作成するための材料費が 1,000 円程度必要。 普段から室内を意識して観察をする。			普段から興味を持って生活空間を観察すること。 メジャーを持参すること。※2週以降。 課題を完成させ、提出すること。 やむを得ない理由がない限り欠席をしないこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
レポート	50	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	
作品	30	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
その他		①	
		②	
		③	
		④	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S: 課題、レポートの完成度が高く、全て提出されている。 作品、発表において独創性があり、表現に工夫がみられる。 総合評価の点数が 90 点以上</p> <p>S: 課題、レポートの完成度が高く、全て提出されている。 作品、発表において、表現に工夫がみられる。 総合評価の点数が 80 点以上</p>	<p>B: 課題、レポートが全て提出されている。 作品を完成させ、発表を終えることができる。 総合評価の点数が 70 点以上</p> <p>C: 課題、レポートが全て提出されている。 作品を完成させ、発表できる状態にある。やむを得ず発表ができない場合はレポートを提出。 総合評価の点数が 50 点以上</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	実例インテリアの画像説明、課題説明、関連資格と職業の紹介	講義、質疑応答	シラバスを理解できている。	予習:シラバス理解 復習:講義のまとめ	180	主体性 規律性 傾聴力
2週 /	日本と西洋のインテリアの歴史とトレンドを学ぶ 住宅内の各空間の特徴と演出方法を考える	講義、質疑応答 グループ討議 課題①	日本と西洋のインテリアの歴史からインテリアのデザインを認識できる。 各空間の役割を考慮した空間の演出方法を検討できる。課題①提出	予習:インテリアのデザインを観察し、気づいたことをまとめる。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3週 /	インテリアの色彩計画の基礎と照明による空間の演出方法を学ぶ。	講義、質疑応答 グループ討議 課題②	インテリアにおける色彩の効果を認識できる。 照明による演出方法の見識を持つことができる。課題②提出	予習:インテリアに使われている色と照明を観察し、気づいたことをまとめる。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4週 /	空間をデザインする家具とウィンドウトリートメント(窓装飾)について学ぶ	講義、質疑応答 グループ討議 課題③	家具・窓装飾品のデザインの見識を持つことができる。課題③提出	予習:身の回りの家具の大きさを測る。窓まわりを観察する。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
5週 /	人間工学の基礎についてメジャーを用いて計測し学ぶ インテリアを表現する図面の見方を理解する。	講義、質疑応答 グループ討議 課題④	人間工学から、空間・モノを把握し体感できる。 図面を見て空間を想像することができる。課題④提出	予習:広告等の間取り図を集める。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
6週 /	図面作成実習 簡単な図面を作成する。	講義、質疑応答 グループ討議 課題⑤	簡単な間取り図を作成することができる。課題⑤提出	予習:部屋を観察し図をかく。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7週 /	収納とインテリアの関係を学ぶ	講義、質疑応答 グループ討議 課題⑥	収納を通して生活とインテリアの関係、重要性を発見できる。課題⑥提出	予習:生活の中で片づけられない原因を考察する。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8週 /	家具と照明のレイアウトを学ぶ	講義、質疑応答 グループ討議 課題⑦	図面の上で家具と照明のレイアウトを検討することができる。課題⑦提出	予習:家具と照明の写真を集める。 復習:講義のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	キッチン1 キッチンのデザインとトレンド、構成について学ぶ。	講義、質疑応答 グループ討議 課題⑧	キッチンをデザインするにあたり、必要な情報の収集ができる。	予習: キッチンを観察し、気づいたことをまとめる。 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10週 /	キッチン2 キッチン空間のデザインをする。 プレゼンボード課題説明 レポート①の説明	講義、質疑応答 グループワーク 課題⑧	収納とレイアウトを考慮しオリジナルキッチンの構成ができる。 課題⑧提出	予習: キッチンの構成を考える。 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 想像力 傾聴力 規律性
11週 /	プレゼンボード作成実習—1 一人暮らしを想定し理想の間取りとエレメントを選定する。	実習、作業中助言	プレゼンボードの作成課題を理解し、作成計画をたてることができる。	予習: プレゼン課題に必要な資料を集める。 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
12週 /	プレゼンボード作成実習—2 室内のレイアウトと演出方法を検討する。	実習、作業中助言	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。	予習: 作成計画の見直しをする 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 創造力 規律性
13週 /	プレゼンボード作成実習—3 発表できるようにプレゼンボードを作成する。	実習、作業中助言	プレゼンボードに作品をまとめ、完成させることができる。	予習: 作成計画の見直しをする 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 創造力 規律性
14週 /	プレゼンテーション 1 作品発表をする。	作品発表、講評 レポート①	自分の作品を発表することで自己表現ができる。他学生の発表と作品の鑑賞を通して自作の課題を発見できる。	予習: 発表の準備をする。 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	プレゼンテーション 2 作品発表をする。 授業内容を振り返る。	作品発表、講評 レポート①	自分の作品を発表することで自己表現ができる。他学生の発表と作品の鑑賞を通して自作の課題を発見できる。レポート①	予習: 発表の準備をする。 復習: 講義のまとめ	180	主体性 実行力 想像力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力